

所属	看護学部／ヘルスプロモーション看護学系	職名	教授	氏名	松浦 賢長
----	---------------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

母子保健学者，思春期保健学者，性教育学者。

東京大学を卒業後，同大学院に進学し，東京大学医学系研究科博士課程を修了（保健学博士）。日本総合愛育研究所母子保健研究部に研究員として勤務後，カリフォルニア大学バークレー校公衆衛生学部母子保健学教室に研究助手として勤務。帰国後，京都教育大学教育学部にて衛生学（学部）および学校保健学（大学院）を担当する助教授として教員養成に10年間携わる。再度，カリフォルニア大学バークレー校公衆衛生学部人口・家族計画学教室に助手として勤務し，平成15年度から本学看護学部開設と同時に地域看護学講座教授として着任した。その後，学部改組によりヘルスプロモーション看護学系教授。また，本学の附属図書館長を平成20年度から21年度まで兼務。現在は，本学の4つのセンターを有する附属研究所長を命じられている（平成22年度より）。

母子保健学：学会レベルでは，日本小児保健学会が10年に一度行う幼児健康度調査（平成22年）の委員を務めている。国レベルでは，わが国の母子保健（健やか親子21）については，第1回中間評価時（2005年）、第2回中間評価時（2009年）に評価研究メンバーとして九州から只一人参画した。また，長年にわたり厚生労働科学研究（山縣班）のメンバーとして政策研究を遂行してきている。わが国の産後うつ病の頻度の把握をはじめとして，研究成果が厚生労働行政政策に反映されている。わが国の乳幼児健診の場から得られる情報の利活用システムの新規開発についても，グランドデザインから関わっている。県レベルにおいても，福岡県の乳幼児健診マニュアルの開発委員長，福岡市の次世代育成支援対策推進協議会委員も拝命した。

思春期学：学会レベルでは，日本思春期学会の理事および性の健康医学財団の幹事を務める傍ら，九州思春期研究会の設立代表理事として，山積する思春期の課題に取り組んでいる。国レベルでは，健やか親子21の指標の見直しを担当し，厚生労働省と文部科学省の協力のもと，慎重な性行動を予測する指標の開発を行い，国の政策に反映させた。また，思春期やせ症予防のためのマニュアル（全国版）を開発した。さらに，平成20年度からは文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」に不登校の子どもたちへの援助力を養成するためのプログラムが採択され，推進責任者としてプログラムを実行している。県レベルでは，福岡県エイズ・性感染症対策委員を拝命し，また，北九州市の性感染症対策のための大規模調査を担当した。

※平成23年度（8月26日～28日）には，第30回日本思春期学会学術集会を主催する。

性教育学：学会レベルでは，いまだ学問として発展途上にあることから，性教育学を確立するべく，全国の若手研究者とともに性教育学構築フォーラムを主催している。国レベルでは，カプラン・マイヤー法を初めて用いた日本人の性行動の分析をおこない，厚生労働省人口問題研究所等から評価を受けた。また，新しい学校性教育のスタイルである「カフェテリア方式」を開発し，全国に導入されている。現在は全国の若手研究者とともに「思いやり」と「共感」の違いに着目しつつ，脳科学・進化心理学の成果を利用し，性教育学モデルを組み立てている。県レベルでは，福岡県の性教育関連事業の委員等を務め，小集団学習福岡方式の開発に寄与した。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

〈著書〉

- ・ 門田光司，松浦賢長，西原尚之，岩橋宗哉，杉野浩幸，四戸智昭，吉岡和子，樋口善之，原田直樹，長谷川智子，渡辺龍彦，宮川治美，柴田洋子．（2009.9）．（門田光司，松浦賢長編著）子どもの社会的自律を目指す 不登校・ひきこもりサポートマニュアル（初版）．東京：少年写真新聞社．

- ・松浦賢長, 望月吉勝, 千葉百子, 苅田香苗, 篠原厚子, 鷹箸右子, 渡部幹夫, 山内泰子, 川上憲人, 柏木聖代, 田宮菜奈子, 川名はつ子, 児玉聡, 小林康毅. (2008.10). (千葉百子, 松浦賢長, 小林康毅編) コンパクト公衆衛生学 (第4版). 東京: 朝倉書店. 1章「人口問題と出生・死亡」, 8章「母子保健」, 10章「学校保健」執筆.
- ・松浦賢長, 小澤道子, 福島富士子, 鳥居央子, 雨宮美帆, 宮沢純子, 小野美代子, 野地有子, 別所遊子, 津島ひろ江, 錦戸典子. (2008.12). (金川克子編) 地域看護活動論① (第2版). 東京: メジカルフレンド社. 1章「母子保健活動論 (pp.2-28)」執筆.

3. 外部研究資金

- ・文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム (教育 GP)」, 不登校・ひきこもりへの援助力養成教育: 1,800 万円, (推進責任者: 松浦賢長). 推進代表&申請書作成メンバー.
- ・文部科学省「戦略的大学連携推進事業」看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想: 7,080 万円, (取組代表者: 名和田新). 申請書作成メンバー&戦略連携室長.
- ・厚生労働省「厚生労働科学研究費補助金」, 平成 22 年度成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「健やか親子 21 を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究」班: 200 万円, (主任研究者: 山梨大学教授 山縣然太郎). 分担研究者.

5. 所属学会

日本思春期学会 (理事), 日本公衆衛生学会, 日本小児保健学会, 日本母性衛生学会, 日本健康教育学会, 日本保健福祉学会, 日本学校保健学会, 日本民族衛生学会, 日本性感感染症学会, 日本ヘルスプロモーション学会, 九州思春期研究会 (設立代表理事)

6. 担当授業科目

<学部>

疫学, 疫学・保健統計学, ヘルスプロモーション論, 学校保健, 性を考える, 専門看護ゼミ, 卒業研究

<大学院>

看護研究法, ヘルスプロモーション科学, ヘルスプロモーション看護学特別研究, 思春期ヘルスプロモーション特論/同演習

7. 社会貢献活動

- ・日本思春期学会・理事
- ・財団法人性の健康医学財団・幹事
- ・北九州市思春期保健連絡会・会長
- ・福岡市次世代育成支援対策推進協議会・委員
- ・田川市次世代育成支援対策後期行動計画策定委員会・委員長

8. 学外講義・講演

- ・松浦賢長.(2010,10).性教育の現状と課題. 平成 22 年度 福岡県教育委員会 教職経験 5 年経過養護教諭研修 校外研修会, 福岡市.
- ・松浦賢長.(2010,02). 思春期の子どもたちに必要な力とは. 平成 21 年度 北九州市門司区主催 第 2 回子育て支援学習会, 北九州市.

9. 附属研究所の活動等

附属研究所長である。各センターが協働する取組を推進した。例として、特別支援学校スポーツ大会 (サッカー) を主催し、同時に特別支援学校絵画コンクールを主催した。また、鎮西校区を対象にした鎮西プロジェクト代表である。後藤寺商店街活性化のための後藤寺雛めぐりの実行委員としても地域貢献している。